

小郡市流域治水事業



小郡市を北から南に流れる宝満川は、古くから人々の生活と文化に自然の恩恵を与えてくれます。筑後川の支流である宝満川は、人が集落を形成し、農業を発展させ、天の川に見立てた七夕伝説を地上に再現するふるさとの風景です。一方、過去には38水と呼ばれる洪水や近年の豪雨による浸水害など、自然の脅威となる一面もあります。気候変動による降雨量の増大や水災害の激甚化・頻発化が予測されるなか、水災害リスクの増大に備えるため、あらゆる関係者と一体となって流域全体で水災害を軽減させる「流域治水」を推進しています。

水

をできるだけ
早く流す対策

堰の撤去

宝満川にある2つの堰を撤去することにより、築地川樋門付近の宝満川水位で約75cm程度(H30.7豪雨と同規模の洪水に対して)の水位低下が図れる見込みです。樋門付近の水位を低下することができれば、樋門を閉める時間が短くなるので、浸水被害の軽減につながります。

⇒堰の撤去

宝満川の整備

⇒河川の土砂撤去、樹木の伐採、河道拡幅

鎗巻川・石原川の整備

⇒河川改修（線形改良、河道拡幅）、河川の土砂撤去、樹木の伐採

雨水幹線の整備

⇒中央雨水幹線及び正尻川雨水幹線の整備

先行排水の実施

⇒宝満川にある4堰（津古、大板井、稲吉、端間）の倒伏による先行排水

⇒水路等にある水門・井堰の改修

貯

める、時間をかけて
ゆっくり流す対策

事前放流の実施

⇒ため池の事前放流

田んぼダムの取組み

⇒田んぼダムの実施（試行→本格実施）

公共施設等の活用

⇒学校グラウンド、地域運動広場の雨水貯留施設の整備（小郡中G、たなばた地域運動広場）

その他

排水ポンプ車の活用

⇒国・県の保有する排水ポンプ車による内水氾濫の排水及びその体制整備

ハザードマップの充実など

⇒内水ハザードマップの作成、洪水ハザードマップ等の更新・拡充

⇒防災監視カメラの設置